



自衛官は一般の国家公務員と比べて早く退職するけど退職後の生活は大丈夫？



退職後の生活に不安を抱くことなく、安心して勤務してもらうため、退職する際の **再就職支援** を行っています。

手厚いキャリアサポート（例）



様々な業界・業種で活躍



公務員になる道も



また、一般の国家公務員より早く定年を迎える自衛官には、**退職金とは別に、若年定年退職者給付金** が支給されます。

若年定年退職者給付金の支給額例

曹長（俸給月額40万円）で定年退職（56歳）した場合

複数回に分けて計 **約1,620万円** が支給されます

1回目の支給額

約273万円

2回目の支給額

約677万円

3回目の支給額

約271万円

4回目の支給額

約398万円

注）上記支給額は、令和13年4月以降、一般の国家公務員の定年年齢が65歳まで引き上げられた時点での試算であり、実際の支給額は退職後の所得に応じて調整されます。

雇用主たる国が責任をもって退職後の生活基盤の安定を図ることは、**多くの方に自衛官を目指していただくためにも重要** です。

